

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-301678  
(43)Date of publication of application : 28.10.1994

(51)Int.Cl. G06F 15/20  
G06F 15/20

(21)Application number : 05-087090  
(22)Date of filing : 14.04.1993

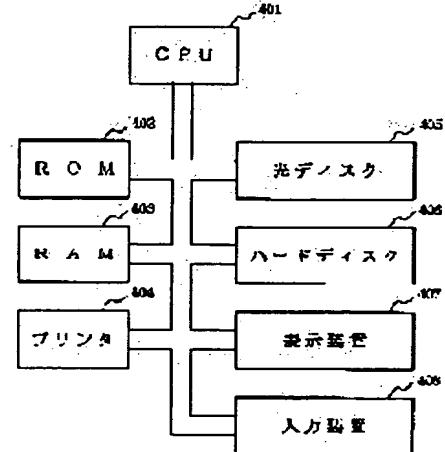
(71)Applicant : HITACHI LTD  
(72)Inventor : YAMADA YOSHIHIRO  
KUNIMORI YOSHIHIKO

## (54) DOCUMENT INFORMATION PROCESSOR

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To make it possible to easily confirm the sources of sentences or drawings in a document under edition by copying existing document information to an optional place in document information under edition and recording the identifier (ID) of the copying source document information as management information.

**CONSTITUTION:** When the document name of a document to be edited is inputted, a CPU 401 finds out a document information file from an optical disk 405 based upon the document name, stores the file in a RAM 403 and displays document information on a display device 407. In the case of a COPY instruction, the document under edition and the copying source document are simultaneously displayed on two divided areas on the device 407, and when a user specifies a copying range and the copying position in the document under edition, the document information of the specified range in the copying source document is copied for the document information under edition. The CPU 401 updates management information appended to the document under edition and records the document name, copying data and copying range of the copying source document in a table as the attributes of the copied document information.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) 1998,2003 Japan Patent Office

**BEST AVAILABLE COPY**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-301678

(43)公開日 平成6年(1994)10月28日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>  
G 0 6 F 15/20

識別記号 廃内整理番号  
5 5 4 N 7315-5L  
5 7 0 R 7315-5L

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21)出願番号

特願平5-87090

(22)出願日

平成5年(1993)4月14日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72)発明者 山田 善弘

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地株式  
会社日立製作所マイクロエレクトロニクス  
機器開発研究所内

(72)発明者 國森 義彦

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地株式  
会社日立製作所マイクロエレクトロニクス  
機器開発研究所内

(74)代理人 弁理士 小川 勝男

(54)【発明の名称】 文書情報処理装置

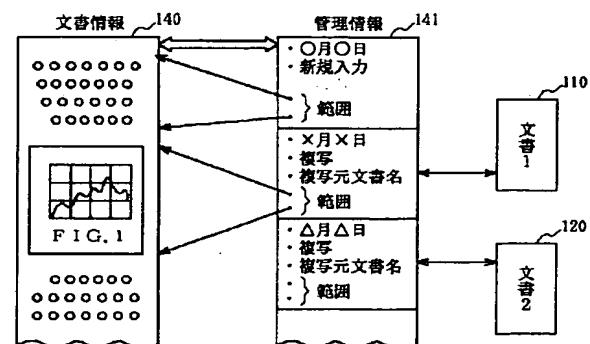
(57)【要約】

【目的】文書中の文章や図面の来歴を簡単に表示することにより文書の管理を容易にすること。

【構成】編集中の文書情報に対して既存の文書情報からの複写を行う場合、複写に関する情報を管理情報として記録し、利用者が文書情報の特定の領域の出典を知りたいと希望した場合は、文書情報の複写元となった文書情報を表示できるようにする。

【効果】文書情報の特定の領域の出典を知りたいと希望した場合、複写元となった文書情報の識別子および複写された範囲の文書を表示させることができるので、利用者は編集中の文書の文章や図面の出典を容易に知る事ができ、文書の管理を効率的に行う事が可能である。

図1



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】文書情報を編集する手段と、既存の文書情報を編集中の文書情報の任意の場所に複写する手段と、複写を行うことにより複写元の文書情報の識別子を管理情報として記録する手段を有する事を特徴とする文書情報処理装置。

【請求項2】複写を行うことにより、編集中の文書に対して、複写元の文書情報から複写された範囲を管理情報として記録する手段を有する事を特徴とする請求項1記載の文書情報処理装置。

【請求項3】複写を行うことにより、複写元の文書情報における複写された範囲を管理情報として記録する手段を有する事を特徴とする請求項1記載の文書情報処理装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は文書を作成し、編集および記録を行うワードプロセッサ等の文書情報処理装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】一般に、ワードプロセッサ等で作成された文書は文書名や文書番号などによる識別子を付けられて記録装置に記録され、必要に応じて読み出して利用される。ワードプロセッサの利用が広まるにつれて、文書情報の再利用が多くなって来た。つまり、新しい文書を作成する場合でも、既存の文書から利用できる部分を複写する事により効率よく文書を作成する事がよく行われる。

【0003】特開平3-8072では、新しい文書を作成する場合に、元となる文書の識別子と、その元の文書に加えた編集内容を新規文書の実体として登録し、文書を表示する場合には元となる文書に追加の編集を行なってから表示することにより記憶装置の容量を有效地に利用する方式を提案している。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記従来技術では複数の文書からの文書情報を編集する場合についての配慮がなされていなかった。例えば、作成した文書の特定の範囲が参照した文書を確認する事が不可能であった。また、元となる親の文書を変更することにより、前記の親の文書を参照する全ての文書を修正してしまうという問題が有った。

【0005】本発明の目的は、複数の文書情報を編集して作成した文書において、参照した元の文書を容易に知る事の可能な文書情報処理装置を提供することにある。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するため、本発明では編集する文書情報に対して管理情報を付加し、管理情報として既存の文書情報からの複写が行われた場合、複写元の文書情報の識別子および複写元の文

書情報における複写された範囲の情報、さらに編集中の文書情報に対して複写した範囲の情報を記録する。

## 【0007】

【作用】編集中の文書情報に対して既存の文書情報の一部もしくは全部からの複写を行う場合、複写元の文書情報の識別子、および編集中の文書情報に対して複写された文書の範囲、および複写元の文書情報における複写された範囲を同時に前記の管理情報として記録する。

【0008】文書情報の特定の領域の出典を知りたいと希望した場合は、管理情報を確認することにより、文書情報の複写元となった文書情報の識別子および複写された文書の範囲を知ることが可能となる。

## 【0009】

【実施例】図2は、文書情報の編集過程の一例を示す説明図である。図中、構成要素110は「文書1」の文書情報、構成要素120は「文書2」の文書情報、構成要素130は「文書3」の文書情報、構成要素140は「文書4」の文書情報、構成要素150は「文書5」の文書情報、構成要素160は「文書6」の文書情報、構成要素170は「文書7」の文書情報を示す。矢印は、文書編集時に複写を行った事を示す。図中の「文書4」140に接続した矢印は「文書4」140は「文書1」110および「文書2」120の一部もしくは全部を複写していることを示す。

【0010】図1は、本発明の一実施例の構成図である。図中、図2と同一の構成要素番号を有する構成要素は図2のものと同一の要素を示す。構成要素110は「文書1」の文書情報、120は「文書2」の文書情報、140は「文書4」の文書情報であり、141は「文書4」の管理情報を示す。

【0011】「文書4」の文書情報140は「文書1」110および「文書2」120の文書情報の一部を複写している事を示す。管理情報141は文書情報140と一緒に作られて文書を管理する情報を格納する。文書情報と管理情報はそれぞれ別のファイルとして作られても良いし、一つのファイルの中に文書情報と管理情報の領域を分割させて存在させても良い。

【0012】図1の例では文書情報140はテキスト情報および図や表などのイメージ情報から成っている。管理情報141は文書情報の特定の部分を入力した日付、もしくは複写された場合の情報を格納する。本例では文書情報140の1段めのテキスト情報は○月○日にキーボードより入力された物である事を示している。また、2段めの図は×月×日に「文書1」の文書情報110から複写したもの、さらに3段めのテキストは△月△日に「文書2」の文書情報120から複写された物である事を示す。

【0013】図3は管理情報の一例であり、管理情報141のテーブル内容を示している。管理情報141のテーブルには、管理する文書情報の内部の領域を示す範囲

データ、前記領域の属性データ、入力日付、複写した場合の複写元の文書の識別子、複写した場合の複写元文書情報における複写した範囲などのデータを格納する。複写された範囲を示す領域の範囲の情報はそれぞれの文書情報が格納されたファイルの先頭からのアドレスでも良いし、文書情報の頭から何文字目かという情報でも良い。

【0014】図4は、文書情報処理装置のブロック図である。図中、構成要素401はCPU、402はROM、403はRAM、404はプリンタ、405は光ディスク、406はハードディスク、407は表示装置、408は入力装置である。

【0015】CPU401は読み出し専用のメモリ(ROM)402に格納されたプログラムに従って処理装置全体の制御を行う。RAM403は読み出しと書き込みの可能なメモリでありCPU401が一時的な情報を記録するために利用する。プリンタ404は文書情報の印刷を行う。光ディスク405は大容量の外部記憶装置であり、文書情報の格納を行う。光ディスク405の方式としては書き込みと読み出しが可能で消去の不可能な追記型の光ディスクでも良いし、書き込み、読みだし、消去の可能な光磁気ディスクでも良い。ハードディスク406は読み出しと書き込みおよび消去の可能な磁気ディスクであり文書情報の一時記憶や、処理装置の制御プログラムの格納に用いられる。表示装置407は利用者が入力装置408より入力した命令により編集中の文書や光ディスク405およびハードディスク406に格納された文書情報の表示を行う。入力装置408はキーボードやマウスにより利用者の命令を入力したり、編集中の文書に対する座標の入力をを行う。

【0016】利用者が文書情報140を編集中に、特定の文章や図面の出典を確認したいと思った場合は、入力装置408より編集中の文書の特定の領域を指示してから、出典を確認するための命令を入力する。CPU401は命令を確認すると管理情報141を確認して利用者が指示している場所の属性情報を調べる。前記の指示された場所が入力装置408より入力されていた場合はその旨を表示する。指示された場所が既存の文書情報より複写されていた場合は、複写元の文書名を表示することにより利用者は元になった文書を確認することができるので文書の管理を容易に行う事が可能である。

【0017】図5は本発明の文書情報処理装置のフローチャートである。図中、番号501～520は処理内容を示す。次に、文書情報編集装置の動作フローについて説明する。

【0018】装置に電源を投入すると処理501の開始の状態でCPU401はROM402に記録されたプログラムに従って処理を開始し、処理502に移って編集する文書名の入力を促す。文書名が入力されるとCPU401は入力された文書名から文書情報のファイルを光

ディスク405から探し出してRAM403に格納するとともに表示装置407によりCRTや液晶ディスプレイに文書の情報を表示する。その後、CPU401は処理504においてコマンド入力待ちの状態に入り、入力装置408から利用者の命令(コマンド)が入力されるのを待つ。

【0019】処理505～処理508はコマンド解釈部であり入力されたコマンドを解釈して各コマンドの処理部を実行させる部分である。

【0020】入力されたコマンドが「複写」命令の場合処理505から処理510に移行して複写元の文書の指定を利用者に促す。処理511で、CPU401は入力された文書名を光ディスク405から探し出して表示装置407に表示する。表示装置407は2つの領域に分割されて、編集中の文書と複写元の文書が同時に表示されるものとする。処理512において利用者は表示された複写元の文書から複写する範囲を入力装置408により指定する。次に、処理513では編集中の文書における複写する位置の指定を行う。処理514において編集中の文書情報に対して、複写元の文書の指定された範囲の文書情報の複写が行われる。次に、処理515においてCPU401は編集中の文書に付随する管理情報の更新を行い図3に示されるように、編集中の文書情報の複写された文書情報の属性として複写元の文書名や複写された日付、複写元の文書情報の複写された範囲をテーブルとして記録した後に処理504のコマンド入力待ちに戻る。

【0021】処理504において入力されたコマンドが「文書編集」の場合は処理506から処理509に制御が写り、文字の挿入や削除、同一文書内の複写などの編集処理が行われる。編集作業終了後は処理515において文書情報の更新が行われて処理504のコマンド入力待ちに戻る。

【0022】処理504において入力されたコマンドが「終了」の場合、処理520で終了する。終了処理の前で、編集中の文書情報と、前記文書情報に付随する管理情報は光ディスク405に保存される。

【0023】処理504において入力されたコマンドが「複写元文書の確認」の場合は処理517において編集中の文書情報に付随する管理情報がチェックされる。CPU401は現在編集中の文書情報において指定された箇所を確認すると、図3に示されるテーブルからなる管理情報により指定された箇所の属性を調べる。指定箇所がキーボードから入力されていた場合はその旨を表示して処理504にもどるが、指定箇所が既存の文書情報から複写された物であった場合は、利用者に複写元の文書名を表示する。さらに、利用者が希望した場合は、複写元の文書情報を表示装置407に表示する。前記の機能により利用者は編集中の文書の文章や図面の出典を容易に確認する事ができる。

## 【0024】

【発明の効果】本発明では、編集中の文書情報に対して既存の文書情報の一部もしくは全部からの複写を行う場合、複写元の文書情報の識別子、および編集中の文書情報に対して複写した文書の範囲、および複写元の文書情報における複写された範囲を同時に前記の管理情報として記録し、編集した文書情報の特定の領域の出典を知りたいと希望した場合は、管理情報を確認することにより、文書情報の複写元となった文書情報の識別子および複写された範囲の文書を表示させることができるので、利用者は編集中の文書の文章や図面の出典を容易に知る事ができ、文書の管理を効率的に行う事が可能である。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1実施例を示す構成図である。

【図2】文書情報の編集過程を示す説明図である。

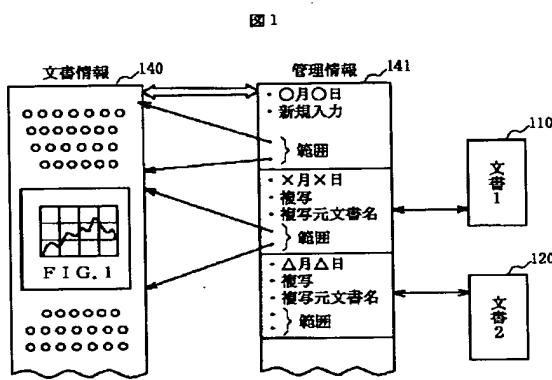
【図3】文書管理情報テーブルを示す図である。

【図4】本発明の1実施例のブロック図である。

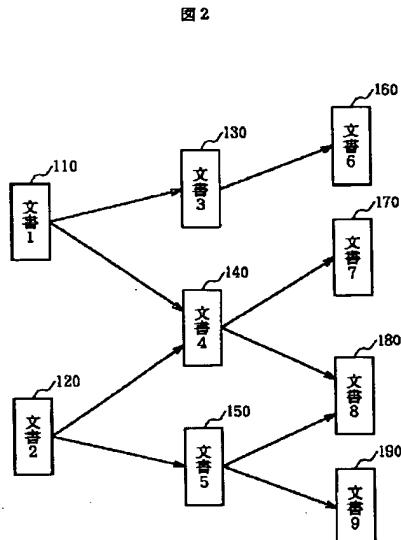
【図5】本発明の一実施例のフローチャートである。

## 【符号の説明】

【図1】



【図2】



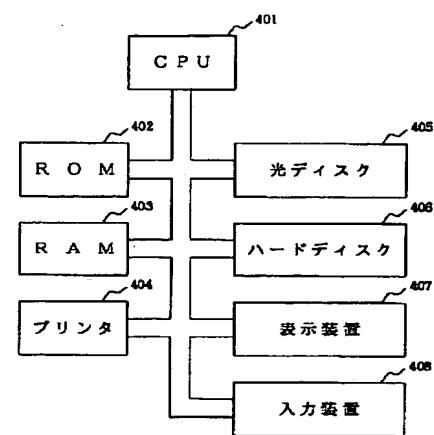
【図3】

図3

範囲	属性：複写元文書	入力日付	複写元範囲
0000~0100	新規 入力	—	○月○日
0101~0300	複写	「文書1」	×月×日 0201~0400
0301~0400	複写	「文書2」	△月△日 0501~0600
0401~0500	----	-----	-----
0501~0700	----	-----	-----
...			
...			

【図4】

図4



【図5】

図5

